

# 自民党 県会報告

第209号

## 2月県議会 定例会

会期 2月14日(水)～  
3月19日(火)

### 物価高騰対策や防災力の強化等 の重要課題に全力で取り組む

2月定例会は2月14日から3月19日までの35日間の日程で開会され、令和6年度一般会計当初予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など123件を可決いたしました。自民党議員会からは、代表質問1名、追加代表質問1名、一般質問5名、総括質問4名が登壇し、令和6年度の県政運営や、災害に強い県づくりのための防災力の更なる強化に向けた取り組みについてただしました。



令和6年度予算の主な内容については以下の通りです。

#### 令和6年度一般会計当初予算 うち復興・創生分

1兆2,381億円  
2,394億円

##### 【主な内容】

- 福島県営農再開支援事業(32億5,398万円)
- ふくしまおいしく減塩緊急対策事業(6,304万円)
- 結婚・子育て応援事業(3億7,554万円)
- ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業(4,281万円)
- ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業(2億8,777万円)
- 台風・大雨災害からの復旧【公共事業】(24億9,730万円)
- ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業(3,500万円)
- 風評・風化対策強化事業(1億1,769万円)

### 自民党議員会が提出し可決した意見書

- 物価上昇に負けない中小企業の賃上げの実現を求める意見書
- 教育現場におけるALPS処理水の理解醸成に向けた取組の更なる強化を求める意見書
- 食料安全保障の強化を求める意見書

### 代表質問 (令和6年2月21日)



自民党議員会を代表して、矢吹  
貢一幹事長(いわき市選出)が登壇し、代表質問を行いました。

- ①地域公共交通の維持・確保にどのように取り組んでいくのか。

#### 内堀知事

急激なバス路線の廃止・減便に伴う通勤・通学等への影響を考慮し、代替交通の運行経費に対する補助を拡充するほか、デマンド交通等の実証運行に対する補助対象期間の延長や、大型二種免許の取得費用等に係る補助制度を新たに創設し、今後とも、地域公共交通の維持・確保にしっかりと取り組んでいく。

- ②県産農林水産物のブランド力強化にどのように取り組んでいくのか。

#### 内堀知事

今年度、県北のもも、会津のアスパラガス、いわきのねぎの三つの産地ごとに最適に組み合わせた対応策として、「ならではプラン」を関係団体等とともに策定した。さらに、これらの産地に加え、きゅうり、ピーマン、いちご、あんぽ柿、かすみ草の五つの産地でプランの策定を新たに進めるなど、今後も県産農林水産物のブランド力強化に総力を挙げて取り組んでいく。

- ③県教育委員会は、教職員の働き方改革にどのように取り組んでいくのか。

#### 教育長

各学校において教職員同士が業務の改善策を提案・検討し、勤務時間外の児童生徒への対応等について、保護者や地域の方々の理解を得ながら、役割分担の見直しを進める。また、全ての公立学校へのスクール・サポート・スタッフの継続配置や県立学校への自動採点システムの導入など、教職員の負担軽減を図ることで、働き方改革に取り組んでいく。

- ④気候変動の影響への適応策をどのように推進していくのか。

#### 生活環境部長

農業関係者へのアンケート等の結果では、多くの県民が近年の気温上昇を実感し、米の品質低下など、農林水産物への影響を懸念していることが明らかとなった。このため、熱中症対策に関する取組を強化するとともに、気温上昇が農林水産物に及ぼす影響を分析し、発信するなど、引き続き気候変動の影響への適応策の推進に取り組んでいく。

### 自民党議員会の活動

### 政策先進県視察調査

1月24日～26日と1月30日～2月1日の日程で、沖縄県・大阪府と和歌山県・大阪府をそれぞれ訪問し、政策先進地の視察調査を行いました。

今回の視察・調査の成果を施策に反映させ、県政の進展に努めてまいります。

#### 1班

1/24  
～  
1/26

- 教育研究を通した地域振興と自立的発展  
【沖縄科学技術大学院大学(OIST)】
- GODACの取組みについて  
【GODAC国際海洋環境情報センター】
- 沖縄MICE振興戦略の取組みについて  
【沖縄県】
- 沖縄国際物流ハブについて【ANA Cargo沖縄】
- 产学研連携によるオープンイノベーションセンターの取組み  
【国立循環器病研究センター】



#### 2班

1/30  
～  
2/1

- ワーケーションの推進による  
関係人口の創出  
【和歌山県】
- 観光振興の取組について  
白浜町の観光資源の視察  
【南紀白浜観光協会】
- 南紀白浜空港のコンセッション  
【株式会社南紀白浜エアポート】
- 大阪・関西万博について  
【近畿経済産業局、日本国際博覧会協会】
- 自民党大阪府議会議員団との意見交換  
【大阪府議会】



### 福島第一原子力 発電所視察

1月31日、東京電力福島第一原子力発電所を視察しました。昨年8月から開始されたALPS処理水の海洋放出の進捗や処理水を使った海洋生物の飼育施設、廃炉作業の現状などについて確認しました。

意見交換では、廃炉作業の安全確保とともに、処理水放出に関する正確な情報発信に取り組むよう求めてまいりました。



# 福島県議会議員 渡辺康平



## 県政レポート 第17号

### 令和6年度の新年度予算可決

2月県議会定例会は2月14日から3月19日までの日程で開会され、令和6年度一般会計当初予算「1兆2,381億円」を可決しました。

当初予算の主な内容としては福島県営農再開支援事業として32億5,398万円、ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業として3,500万円、風評・風化対策強化事業として1億1,769万円など、新たな事業が組み立てられました。これらの予算は自由民主党議員会の要望をもとに県が予算をつくり上げています。

また、自民党議員会が提出した「物価上昇に負けない中小企業の賃上げの実現を求める意見書」「教育現場におけるALPS処理水の理解醸成に向けた取組の更なる強化を求める意見書」など3件の意見書が可決されました。今後も自民党議員会は福島県議会の議論をリードして参ります。

さて、今回の「教育現場におけるALPS処理水の理解醸成に向けた取組の更なる強化を求める意見書」は、国に対して以下の内容を求めていました。

- ①処理水の海洋放出は長期に渡ることから、全国の教育委員会に対し、放射線副読本はもとより、処理水について分かりやすい適切な資料等の活用について、改めて強く求めていくこと。
- ②出前授業の拡大や教員に対する研修を通しながら、放射線副読本の活用を継続していくとともに、1人1台端末を活用した放射線副読本の活用事例の全国展開に向けた取組を強化すること。

この意見書は1月下旬に開かれた日教組による全国集会において、授業で使ったプリントとして、「日本政府は何をしようとしているか」との見出しで「汚染水の放出を強行」などと記載していたことに端を発しています。教育現場において、教師が科学的な根拠に基づかない一方的な主張を授業で実践されたことに大変危惧していました。

汚染水と処理水を混同するような教職員組合による教育こそ、教員の立場を乱用した政治活動です。文科省には福島県議会の意見書に基づき、科学的根拠に基づく放射線教育を実践していただきたいと思います。

渡辺こうへい  
への連絡先

連合後援会事務所 〒962-0013 須賀川市岡東町141  
TEL 0248-94-5380 FAX 0248-94-5382

### 2月県議会総務委員会の報告

2月議会における総務委員会では令和6年度当初予算編成についての歳入と歳出について審査しました。福島県の歳入においては、原油価格・物価高騰が及ぼす社会・経済活動への影響が不透明であることから、一般財源総額の確保は予断を許さない状況にあり、歳出においては、復興と地方創生に向けた広範かつ多様な財政需要が見込まれます。

現下の物価高騰に適切に対応しながら、複合災害からの復興や、人口減少に向けた「福島ならでは」の地方創生を一層加速させるとともに、防災力の強化や地球温暖化対策、デジタル変革の推進などにも取り組むため、総合計画の8つの重点プロジェクトを中心に予算の重点的、優先的配分を行ったことが総務部長から説明がありました。

この結果、福島県の令和6年度一般会計予算総額は1兆2,381億800万円となり、前年度当初予算額に比べ1,001億円の減となっています。



▲ 総務委員長報告を副委員長として代読



▲ 総務委員会の審査状況

### 地域の要望を届けていきます

2月「袋田バイパス」に横断歩道が新設されました。これは須賀川市袋田区の区長さんから陳情があり、警察署に要望していました。



▲ 交差点の信号機設置前



▲ 交差点の信号機設置後

3月鏡石町岡ノ内の不時沼交差点に歩行者用横断歩道が設置されました。昨年10月に地元の区長さんと警察署に要望していた案件です。

### 福島県議会日台友好 議員連盟による台湾訪問



▲ 外交部の台湾日本関係協会の林郁慧専門委員と面談

3月22日～3月26日にかけて、福島県議会の超党派でつくる日台友好議員連盟（事務局長：渡辺康平）は、チャーター便に搭乗して台湾を訪問しました。25日には台湾外交部が所管する台湾日本関係協会の林郁慧専門委員と面談。私から「ALPS処理水に関する中国による偽情報について、台湾への影響はどのくらいあるのか」聞いたところ、林氏から「台湾は中国と違い科学的情報を基に判断する」と話がありました。台湾の良識ある判断に感謝を申し上げます。

その後、議員連盟は航空会社のタイガーエアを訪問し、福島空港の台湾チャーター便を定期便化するように要請しました。營運長の賴俊迪氏から定期便化に向けた前向きな回答を頂いています。今回の台湾訪問により地方議員レベルにおける議員外交の意義は大きいと実感しました。今後も日台友好議連の事務局長として、福島県と台湾の交流に尽力して参ります。

